

特別委員会の動き

企業対策特別委員会

7月10日に委員会を開催し、理事者から新たな工業団地の造成について説明を受けました。この工業団地は、志佐町栢木免の堂山地区に1万2千平方メートル程度造成し、1万平方メートル程度を分譲する計画です。

進出予定企業については、関東地方所在の自動車関係の精密部品の製造企業で雇用予定人数は30人から50人との説明を受けました。

また、8月2日に委員会を開催し、市内の企業14社と市内企業の振興、雇用対策等について意見交換会を行いました。その中で、光回線の整備は、企業が経済活動を進める上で、また企業がさらに発展するために、必須条件になっているという意見のほか、雇用人材の不足に関する事、住居等の施設整備など市内定住策に関すること、外国人労働者の受入れ体制づくりに関することなど本市の現状や課題について、企業から幅広い意見を聴くことができました。



【企業との意見交換】

西九州自動車道整備促進特別委員会

6月12日に委員会を開催し、西九州自動車道伊万里松浦道路松浦1号橋上部工の架設工事に関し、工事概要と周辺道路の通行規制について理事者から説明を受けました。

8月10日、佐々町において、伊万里・平戸・松浦市議会・佐々町議会西九州自動車道建設促進協議会総会が開催され、西九州自動車道の早期完成に向けた平成29年度の活動計画等を決定するとともに、「道路整備

予算の確保等に関する決議」を全会一致で採択し、政府及び関係機関へ決議文を送付いたしました。

8月30日、協議会の活動計画に基づき、佐賀県知事、佐賀県議長並びに佐賀国道事務所長、長崎河川国道事務所長に対し、伊万里道路、伊万里松浦道路、松浦佐々道路の事

議会運営委員会の先進地調査

平成29年7月24日から7月26日までの3日間、議会改革の取り組みに関して三重県鳥羽市及び兵庫県篠山市の先進地調査を行いました。

【鳥羽市】

鳥羽市は志摩半島に属し、西を伊勢市、南を志摩市に接するほかは海岸線である。市域全体が伊勢志摩国立公園に指定されています。海岸はリアス式で温暖な気候に恵まれており、人口は1万4千900人余です。

（調査概要）

鳥羽市議会ではソーシャルメディアを利用した情報発信や、議会報告会に代わる「TOBAミライトーク」を開催され、テーマに沿った意見交換を市内の団体と積極的に行わ

業促進と早期完成、道路整備予算の安定的な財源確保及び道路財特法における特別措置の平成30年度以降の継続を要望いたしました。

各機関とも、予算確保が重要であり、早期完成に向け、一致協力して取り組んでいきたいとの回答をいただきました。

れています。

また、タブレット端末を利用した活動をされており、資料を活用した一般質問や議会事務局とのやりとりなどにも活用され、事務負担軽減にもつながっています。

様々な問題が出てきた議会報告会を一時休止され、今後のあり方を議論され、新しく「TOBAミライトーク」を開催されています。議会内で出てきた問題を真摯に受け止め、協議を重ね、新しいものを創りだされる姿勢は松浦市議会としても学ぶべきものが多いと感じました。

また、タブレット端末を利用した議会運営では、市民目線に立ったわかりやすい一般質問となるよう工夫されています。